

## 荒山&鍋割山山行報告

【山行日】 2014年 12月 28(日) 快晴

【集 合】 岩舟支所P AM 6:00

【費 用】 マイカー1台 : 600円

【メンバー】 CL:鈴木、 岩淵、大西、梶内、  
関、谷口

【コースタイム】 岩舟支所 P6:00 = 姫百合

P7:45/8:05 ~ 荒山高原 9:00 ~ 荒山 10:10/10:20

~ 東屋 11:45/12:25 ~ 荒山高原 13:00 ~ 鍋割山

13:40 ~ 荒山高原 14:10 ~ 姫百合 P14:40 = あいのやまの湯 15:10 = 岩舟支所 P16:50

たのしい山女子が、山人クラブの仲間に加わった。登山経験は浅いが雪山に登りたいと、12/14(日)に雪山机上講習を受け、12/23(火)には谷川岳で雪山訓練を受けて来た強者。早く雪山を歩



きたいとの要望を受けて、初級の雪山トレーニングを計画した。今までは、荒山か鍋割山のいずれかに登る短いコースにしたが、今回は雪山を十分に堪能できるように両方の山に登るコースとした。

途中の道路から見える荒山と鍋割山には雪が見えない。参加者の皆さんも「雪が見えないよ。雪はあるの?」と不安そう。

姫百合駐車場に着いても雪が見えなかったが、登山道は雪で白くなっていた

。トイレとストレッチを済ませ出発する。

始めはアイゼンを付けず、雪の斜面を静加重・静移動で登るトレーニングをしながら登った。静加重・静移動のトレーニングには、雪道を歩くのが一番解りやすい。20分くらい雪の斜面を登り、ふれあいの森への分岐でアイゼンを付ける。

アイゼンの装着を確認し、歩き方を指導しながら登り始める。谷あいの山道は日陰になり、雪がほどほどあって締まっておりアイゼンが良く効き歩き易い。次第に傾斜がきつくなり、荒山風穴を過ぎて傾斜が緩やかになると荒山高原に着く。

天気は最高で、風もなく穏やかな登山日和に恵まれた。休憩をとり、衣服調整してアイゼンの確認をして荒山に向かった。ツツジの灌木帯を登り、左手に上信越の山々が真白く見え、後方に浅間山が大きく見える。雪は少なくて歩き易いが、段々高度を上げるに従い

雪が深くなる。皆さん雪山歩きはとても楽しそう。



途中休憩をとり、Sさんが持参した大きな羊羹を美味しく戴く。

ダケカンバの樹林帯になると雪はさらに深くなり、段差をロープで登るのに苦労する。二つ目の段



差をロープで登りきると、傾斜が緩くなりやがて荒山山頂に着く。山頂には大きな祠があり、荒山山頂の標識もある。樹林の中で、眺望は無いが、少し先に進むと樹間から上越の山々が望める。

菓子と果物を食べてエネルギーを補給し下山する。復路は南東の尾根を下り、棚上十字路経由で荒山高原に戻るコースにする。こちらも雪はそこそこあるが、気温が高く雪が解けてアイゼンの歯に付きI嬢は大騒ぎ。

K氏が時々I嬢のアイゼンに着いた雪を、ストックで落としてあげる

昼食は荒山高原の予定だったが、棚上十字路の東屋に着きランチタイムにする。今日の山ごはんはカレーうどん。雪を眺めながら食べるカレーうどんはなぜか美味しく感じる。

荒山高原まで戻り、「鍋割山は雪が少ないの



で、アイゼンを外しても登れます。」と言うと、全員外すことになった。雪は結構あったが、気温が上がり柔らかくなったので問題なく登れる。最初のピークに

登ると、右手に真白く雪をかぶった上信越の山々の絶景が広がり大感激。「ウワー綺麗」を連発し、しばし立ち止まって絶景を楽しむ。初めてのT嬢も「この景色を見ただけでも来て良かったです。」とご満悦。さらにその先のピークは高度が高くなる分眺望がよく、皆さん大満足。鍋割山頂は西側の眺望が無く、少し不満そうだったが浅間山が大きく見えこちらも大満足。ゆっくり景色を堪能しながら、パイナップルをいただき下山する。下山も絶景を見ながらルンルン下り、速い速い。



皆さん雪の下りもアイゼンなしで怖がらない。転ぶこともなく、アツと言う間に荒山高原に着いた。

ここからもさらに早く、途中 K 氏がこけたがご愛嬌、コースタイムの半分で姫百合駐車場へ着いた。  
下山後の皆さんは、雪山を存分に楽しみ満ち足りた顔をしていた。  
そうそう、T 嬢は次の日も旦那様と黒檜山に雪トレで登ったんだって。恐れ入りました～～

